

こんにちは **けんしん** です。

ごあいさつ



理事長 青木 和夫

平素は、滋賀県信用組合(けんしん)に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

ディスクロージャー誌「けんしんの現況2022」を作成いたしましたので、ご高覧賜り、当組合に対するご理解をより一層深めていただければ幸いに存じます。

令和3年度の日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが見られるとされています。しかし、ウクライナ情勢等による不透明感がみられる中で、原材料価格の上昇や金融資本市場の変動、供給面での制約等による下振れリスクも懸念される状況にあり、持ち直しの実感が持てない状況となっています。

協同組織金融機関として、本来の特性である地域密着型金融に積極的に取り組み、金融業務を通じた地域貢献など、経営の健全性向上を図りながら、地域の皆様に信頼され存在感のある金融機関を目指し、令和3年度は、当組合創立70周年でもあり、「第3次経営強化計画」の中間年度としてその達成に向け、お客様と地域の課題解決や当組合の収益力強化に役職員が「挑戦」を合言葉として取り組んでまいりました。

その結果、預金・貸出金共に期末残高・期中平均残高が前期比大幅に増加し、金融機関の本来の実力を示すコア業務純益は248百万円を計上、最終利益も198百万円を確保することができました。皆様のご支援に感謝を申し上げます。

令和4年度は「第3次経営強化計画」の最終年度となることから、役員一丸となって目標達成に向けて取り組むと同時に、「改革」というキーワードのもと、地域と共に成長する金融機関として金融サービスの向上に努めます。

地域の皆様に寄り添う最も身近な金融機関として、資金繰り相談・支援に努め、地域経済の活性化の一助となることを目指してまいります。今後ともなお一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年7月

理事長 青木 和夫